

平成26年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学

(単位：百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 (決算-予算) | 備 考 |
|--------------------|-------|-------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 1,384 | 1,454 | 70 | (注1) |
| うち補正予算による追加 | | 36 | | |
| 施設整備費補助金 | 171 | 171 | 0 | |
| 船舶建造費補助金 | 0 | 0 | 0 | |
| 施設整備資金貸付金償還時補助金 | 0 | 0 | 0 | |
| 補助金等収入 | 65 | 54 | △10 | (注2) |
| 国立大学財務・経営以外-施設費交付金 | 17 | 17 | 0 | |
| 自己収入 | 1,331 | 1,320 | △11 | |
| 授業料及び入学金及び検定料収入 | 1,277 | 1,263 | △13 | (注3) |
| 附属病院収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 財産処分収入 | 21 | 0 | △21 | (注4) |
| 雑収入 | 32 | 56 | 24 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入 | 37 | 43 | 5 | (注6) |
| 引当金取崩額 | 0 | 2 | 2 | (注7) |
| 長期借入金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 貸付回収金 | 0 | 0 | 0 | |
| 承継剰余金 | 0 | 0 | 0 | |
| 旧法人承継積立金 | 0 | 0 | 0 | |
| 目的積立金取崩 | 4 | 0 | △4 | (注8) |
| 計 | 3,012 | 3,063 | 51 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 2,720 | 2,757 | 36 | |
| 教育研究経費 | 2,720 | 2,757 | 36 | (注9) |
| 診療経費 | 0 | 0 | 0 | |
| 施設整備費 | 188 | 188 | 0 | |
| 船舶建造費 | 0 | 0 | 0 | |
| 補助金等 | 65 | 57 | △7 | (注10) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 37 | 33 | △3 | (注11) |
| 貸付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 長期借入金償還金 | 0 | 0 | 0 | |
| 国立大学財務・経営以外-施設費納付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 3,012 | 3,037 | 25 | |
| 収入-支出 | 0 | 26 | 26 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として当初見込みより退職手当額が増加したこと及び予算段階では予定していなかった「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠、教育改善推進枠、年俸制導入促進費の3事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が70百万円多額となっております。
- (注2) 補助金等収入については、前年度に交付された補助金の残額を返還したことにより、予算額に比して決算額が10百万円少額となっております。
- (注3) 学生納付金については、主として授業料において員数が当初の見込みより減少したことにより、予算額に比して決算額が13百万円少額となっております。
- (注4) 資産の売却が当初の見込みより遅れたため、予算額に比して決算額が21百万円少額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として科学研究費補助金の獲得に努め間接経費を受け入れたことにより、予算額に比して決算額が24百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、主として寄附金の獲得に努め当初の見込みより多くの寄附を受け入れたため、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩額については、引当金による賞与及び退職金の支払いに伴い経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、事業実施期間を平成27年度まで延長したことにより、予算額に比して決算額が4百万円少額となっております。
- (注9) (注1) に示した理由により、予算額に比して決算額が36百万円多額となっております。
- (注10) 補助金等については、交付された補助金に残額が生じたため、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として受託研究費及び共同研究費において、当初の見込みより獲得件数が少なかったことにより、予算額に比して決算額が3百万円少額となっております。